

インターネットに接続することの危険性

小学生だから関係ないと言われません。やがて、携帯電話を買ってほしい、スマートフォンを買ってほしいと言われます。今だって、フリースポットと呼ばれる町中のどこかでお子さんが持っているゲーム機でインターネットができることを知っていますか？

子どものモラルを育てるだけでなく、大人がインターネットに繋がることの危険性を理解し、現実的な対応の仕方を学んでいく必要があります。

下の表に、大まかにまとめて見ましたが、何のことかまったくわからない場合には要注意です。詳しい知り合いに聞いたり、雑誌や書物を読んだり、携帯電話会社の方から聞くなどして理解を深めましょう。

●インターネットに接続できる機器

(例) パソコン、スマートフォン、携帯電話、タブレット、ゲーム機

●持たせる(買い与える)ことで生じる危険

(例)

- ・ネットサーフィン → 時間の無駄遣い、学業に専念できない、夜中まで起きている、心身の不健康、等々
- ・ショッピング、オークション → 上記+経済的な負担、金銭感覚の麻痺、フィッシング詐欺の被害、等々
- ・メール、掲示板、ブログ、プロフ、ツイッター → 個人情報の書き込み・漏洩による誹謗中傷、いたずら等の加害者・被害者
- ・出会い系サイト、有害サイト → 性被害、わいせつ画像・暴力・自殺・薬物等の有害情報との接触

●犯罪の加害者になる危険性

- ・ちょっとしたいたずらのつもりでも → 名誉毀損、脅迫罪、恐喝罪などで逮捕、補導される。
- ・インターネットに匿名性はない → IPアドレス(インターネットに繋がるための固有の番号)により使われた機器が(個人が)特定される。機器にも通信記録が残る。警察も専門家が常に監視しているので必ず検挙される。

●買い与えなくとも、心配されること

- ・自宅でごっそりやる。 → パスワードの設定やフィルタリングは大丈夫ですか？
- ・友だちの家でやったり、借りたり、売り買いをして手に入れる。 → 買ってもしないのに機器を持っていませんか？
- ・インターネットカフェなどでやる。 → 帰宅時間が遅くなっていませんか？
- ・フリースポットで接続する。 → 町中に繋がるポイントがあり、子どもたちがたむろしていませんか？
- ・電話代などが高額になっている。 → 対戦型ゲームで相手に勝つために子どもがアイテム(武器)を購入していませんか？

●大人の知識や認識は十分か？

- ・プロフ(個人情報を公開した自己紹介のようなもの)を公開している高校2年生は「44%」、それを知っている親は「17%」
- ・ゲームソフトには年齢制限がある。 → 「A」全年齢対象、「B」12歳以上対象、「C」15歳以上対象、「D」17歳以上対象、「Z」18歳以上のみ対象